

俳句のまち宣言一〇周年記念事業

令和六年度

奥の細道矢立初めの地

子ども俳句相撲大会プログラム



桃太郎

香蝶楼

主催 荒川区

荒川区教育委員会

会場 荒川総合スポーツセンター小体育室
(荒川区南千住六丁目四五―五)

日程 令和七年三月二十二日(土)



名所江をる景

子句
大はし

—松尾芭蕉『おくのほそ道』 旅立ち—

千じゆと云所いふにて船をあがれば、前途二千里のおもひ胸にふさがりて、幻のちまたに離別の泪をそぐ。

行春ゆくはるや鳥啼魚とりなきうをの日は泪

是を矢立の初として、行道ゆくみちなをすゝまず。人々は途中に立ちならびて、後うしろかけのみゆる迄はと、見送みおくなるべし。

令和六年度 奥の細道矢立初めの地

子ども俳句相撲大会プログラム

俳句を東

ごあいさつ

「奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会」は、平成二十年三月に千住大橋鉄橋化八十周年記念企画展の関連事業として始まり、今回で十六回目を迎えます。大会名の「奥の細道矢立初めの地」とは、元禄二年（一六八九）三月、松尾芭蕉が奥の細道に旅立つ際、矢立初めの句「行春や鳥啼魚の目は泪」を南千住で詠んだことにちなみます。この大会の開催を通じ、南千住が奥の細道矢立初めの地であることを広めるとともに、子どもたちに日本の伝統文化のひとつである俳句のすばらしさを伝え、豊かな感性と表現力を育む機会とすることを目的としています。

令和六年度大会は「荒川区俳句のまち宣言」一〇周年を記念し、土俵を設けて開催します。この宣言は、平成二十七年（二〇一五）三月十四日、奥の細道千住あらかわサミットの開催にあわせ制定されました。荒川区が「俳句のまち」であることを区内外に広く発信し、子どもから大人まで俳句文化の裾野を広げ、豊かな俳句の心を育むことを目指すものです。

荒川ふるさと文化館では、これまで多くの俳句の振興のための活動を行ってきました。本大会以外にも、子どもたちが俳句に親しむことができる取り組みとして、夏休み子ども博物館「俳句を作ろう」、常設展示室に「奥の細道と千住」コーナーを設置し、新たに収蔵した俳句関係資料を定期的に紹介するなど、内容の充実を図っています。今後も子どもから大人まで俳句文化の裾野をさらに広げ、豊かな心を未来に伝えるための事業を行っていきます。

結びに、本大会の開催にあたりご協力いただきました、荒川区在住の俳人、現代俳句協会副会長 対馬康子先生、荒川区俳句連盟会長 佐々木忠利先生及び連盟の皆様、荒川相撲甚句有志の会、荒川区大太鼓連盟、素盞雄神社様のほか、関係各位に対し厚く御礼申し上げます。

令和七年三月

荒川区

荒川区教育委員会

荒川区俳句のまち宣言

平成27年3月14日 荒川区

起草委員会委員長

委員

対馬 康子

金子 兜太

小池 寛治

佐々木 忠利

銭谷 眞美

西村 我尼吾

「行春や鳥啼魚の目は泪」

元禄2年3月この句を矢立初めの句として

松尾芭蕉はその生涯をかけ「奥の細道」へと旅立ちました

芭蕉が渡った千住大橋は江戸と東北の地を結び

私たちを俳句の世界へと いざなう大橋として

昔もいまもこれから 隅田川に架かります

私たちの暮らすまちには 人々が行き交い

芭蕉の想いと 四季折々の美しさに導かれ

子規が一茶が 山頭火がこの地で俳句を詠みました

「五・七・五」17文字の無限に広がる世界の中で

私たちは 思いを伝える力をもちます

新しいものを創りだす力をもちます

世界中の人たちと心を結ぶ力をもちます

荒川区は

俳句の魅力を次代につなぐ架け橋として

子どもから大人まで 俳句文化のすそ野をひろげ

豊かな俳句の心を未来に伝えることを誓い

「俳句のまちあらかわ」を宣言します

ごあいさつ・・・ 2

荒川区俳句のまち宣言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

もくじ・・ 4

大会の流れ・大会のルール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

トーナメント表・・ 6

千秋楽の句・・ 7

・本誌は、令和七年（二〇二五）三月二十二日、荒川区・荒川区教育委員会主催により荒川総合スポーツセンター小体育室で開催する「奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会」千秋楽のプログラムです。

・本大会の句は、予選は「春の季節」、準決勝は、「流し雛」「クロッカス」、決勝は、「東風」「春の星」の兼題をもとに作られています。

・予選では、荒川区内の小学校十七校から計百五十三チームの応募があり、荒川区俳句連盟（佐々木忠利氏、田中礼子氏、安西信之氏、竹野美恵子氏、小松孝子氏、田岡弥寿子氏、菅谷安男氏）によって選考が行われました。

・審判長は対馬康子先生（俳人、現代俳句協会副会長、俳誌『麦』会長、俳誌『天為』最高顧問）。審判員は市橋洋子先生（俳人協会会員）、滝口学荒川区長が務めます。

・行司・呼び出し等は、荒川相撲甚句有志の会の協力を得ました。

・このほか、荒川区大太鼓連盟、能圓坊貴子氏（素盞雄神社権禰宜、文化室学芸員）にご協力いただきました。

千 秋 楽

大会の流れ

予選

二人一組で1チームを作り、一人一句の俳句を作成。応募があった153チームの中から8チームが千秋楽に進出

一回戦

千秋楽に進んだ8チームによる4試合

準決勝

勝ち進んだ4チームで準決勝2試合

三位決定戦

決勝に進めなかった2チームによる三位決定戦。西大関（三位）、関脇（四位）が決定。

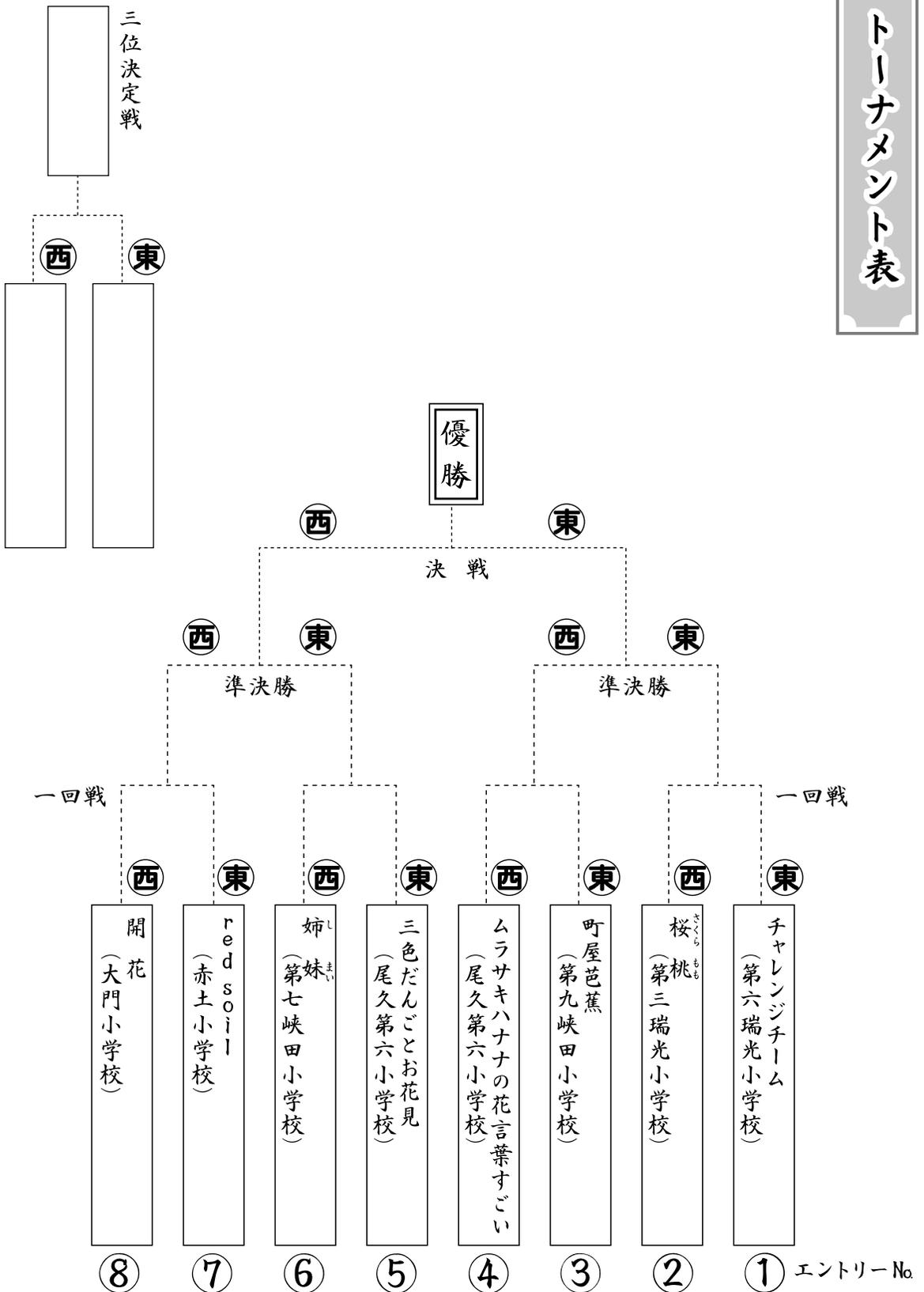
決勝

準決勝を勝ち進んだ2チームによる決勝戦。横綱（優勝）、東大関（準優勝）が決定。

大会のルール

- ① チームごとに俳句を披露し対戦します（1回の対戦で一人1句披露）。
- ② 審判員の点数（一人1点）の合計で判定します。
- ③ 横綱（優勝）、東大関（準優勝）・西大関（三位）・関脇賞（四位）
この他、小結・殊勲賞・敢闘賞・技能賞等があり、審判長・審判員の審査により決定します。

トーナメント表



千秋楽の句

千秋楽出場の子どもたちは、決勝までの3回の対戦に備え、1チームでそれぞれ3句ずつ、計6句を作りました。チームのメンバーのどちらの作品か分かりやすくするため、各句の下に名前を入れました。

【兼題】

一回戦 「春の季節」

準決勝 「流し雛」 「クロッカス」

決勝戦 「東風」 「春の星」

● チャレンジチーム

荒川区立第六瑞光小学校

柴田しばた 麻畝まほさん
 芳家よしか 皐さつきさん

名由来	チームの由	気込み	意気
初の試みだけどがんばろうということですよ！		初出場できんちようしているけど優勝したい！	

陽だまりで友と分け合う桜もち

麻畝

遠足だ前後のリユックはずんでる

皐

流しびな見送るわたし見つめてる

麻畝

クロツカスそつと顔出しごあいさつ

皐

別れゆく友と見つけた春の星

麻畝

東風吹いて新たな道を踏みだそう

皐

エントリーNo.

2

さくらもも
桜桃

荒川区立第三瑞光小学校

堀^{ほり}
山元^{やまもと}

栞璃^{しおり}さん
晴葵^{はるき}さん

ペダルふみ桜トンネルぬける私

栞璃

野に出れば甘い香りと桃の花

晴葵

願いのせかすみにとけるながしびな

栞璃

コートぬぎのびる細葉のクロツカス

晴葵

「大丈夫。」東風が私の背中おす

栞璃

春の星ぼくをみちびくら針ばん

晴葵

名由来	チームの	込み気意
俳句の季語が桜と桃だから		トロフィーとるためにかんばる

エントリーNo.

3

まちやばしろう
町屋芭蕉

荒川区立第九峡田小学校

あきもと 秋元 貴文さん
このの 今野 真歩さん

名	由来
松尾芭蕉さんみたいな俳句を作りたいから	

気	意
二連覇めざすぞー!!	

ちりぎくら
散桜。ピンクのシャワー浴びて行く 貴文

弁当に入ってさわぐ花吹雪 真歩

お 推し活のメンカラあるぞクロツカス 貴文

流し雛お悩み相談待ってます 真歩

つよこち
強東風や打球伸びるよホームラン 貴文

東風が吹く季節と花粉もとんでくる 真歩

エントリーNo.

4

●ムラサキハナナの花言葉すごい

はなことば

荒川区立尾久第六小学校

中村 なかむら 華さん はな
米山 よねやま 陽彩さん ひいろ

さくらもち成長感じるときがきた 華

入学式新しいとびら開いたよ 陽彩

流しびな災いが去るおいのりを 華

クロツカス想いをこめた白いシャツ 陽彩

東風ふけば花びらがまいさみしいな 華

東風ふけばカウントダウンあと5日 陽彩

名由来	チームの
花言葉が気に入ったから	み込み 気が 意
	かつかちます！……がんばります！……やっぱ無理かも……

エントリー No.

5

● さんしよく 三色だんごとお花見 はなみ

荒川区立尾久第六小学校

ほそがい 細貝 ゆうと 優斗さん
わたなべ 渡辺 こうすけ 康介さん

名由来	チームの由
お花見でよくだんごを食べるから	絶対に優勝!!

都電から見える桜と観覧車

優斗

ピーピーとなりひびくこえウグイスが

康介

写真にもぼかぼか満ちるクロツカス

優斗

流し雛みんなちがって楽しいな

康介

小台橋川面かわもに映る春の星

優斗

春の星ピカピカ光る一等星

康介

エントリーNo.

6

●
姉妹しまい

荒川区立第七峡田小学校

中村なかむら

和奏わかかなさん
柚月ゆづきさん

ともだちとおかしをたべてひなまつり

柚月

桜舞いよろこぶ人の手に団子

和奏

みずをあげごきげんすぎなクロツカス

柚月

うららかな陽気に咲くのはクロツカス

和奏

たべたいなあめのかけらのはるのほし

柚月

東風ふく日隅田川浴い歩いてく

和奏

名 来	チ ー ム の 由	込 み 気 意
	姉妹で応募したから	決勝に参加できるようにがんばりました！

red soil

荒川区立赤土小学校

大塚 おおつか
吉田 よしだ

望未 のぞみ
彩葵 あおい
さん

名由来	チームの
学校が赤土小学校なので、赤(レッド)土(ソイル)でred soilにしました	気込み
	はじめてなのでがんばりました

ようしゆんの桜ふぶきとおにごっこ 望未

とびたいなたんぽぼわたげせーのでふー 彩葵

クロッカス心おどらせ待ち望み 望未

流しびな家族の幸せどんぶらこ 彩葵

東風吹けば期待と不安クラスがえ 望未

いっしよだねはずかしがりやの春の星 彩葵

エントリーNo.

8

●
開花かいか

荒川区立大門小学校

石崎いしざき
高橋たかはし

桜彩さんみあ
芽生さんめい

つつじさき町中包み季をしらせ

桜彩

タンポポは強くねばって時すごす

芽生

願いこめ水に浮きゆく流し雛

桜彩

クロツカス友と誓った花言葉

芽生

春の星心あたたか笑みこぼれ

桜彩

東風がふきあまい香りに包まれし

芽生

名来 チーム の由	気込み の意
春は新しい一歩をふみだす季節だから	俳句でだれかとながって感動させたいです

表紙 「桃太郎・怪童丸」(部分)香蝶楼豊国画(国立国会図書館蔵)
扉 名所江戸百景「千住の大はし」歌川広重画(荒川ふるさと文化館蔵)
裏表紙 大会キャラクター「ばしよう君」

令和六年度 奥の細道矢立初めの地

子ども俳句相撲大会プログラム

令和七年三月二十二日

編集 荒川区立荒川ふるさと文化館

〒一六〇〇〇三

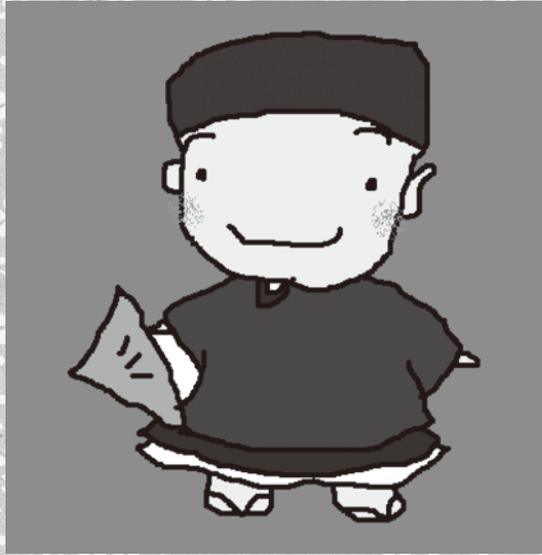
荒川区南千住六―六三一―

Ⅲ〇三―三八〇七―九二三四

発行 荒川区・荒川区教育委員会

印刷 株式会社マステック

登録番号 (06) 0109号



大会キャラクター「ばしょう君」

奥の細道 矢立初めの地 千住あらかわ